

Cubase Studio 5.1.1 の新機能



CUBASE STUDIO₅

Music Production System



Cristina Bachmann, Heiko Bischoff, Marion Bröer, Sabine Pfeifer, Heike Schilling

本書の記載事項は Steinberg Media Technologies GmbH 社によって予告なしに変更されることがあり、同社は記載内容に対する責任を負いません。本書で取り扱われているソフトウェアはライセンス契約に基づいて供与されるもので、ソフトウェアを他の媒体に複製することはライセンス契約の範囲内でのみ許可されます。Steinberg Media Technologies GmbH 社から前もって書面による承諾が得られていないかぎり、目的や形式の如何にかかわらず、本書のいかなる部分も複写、複製、または、その他の方法で伝達、記録することは禁じられています。

Windows XP は Microsoft Corporation の商標です。Windows Vista はアメリカ合衆国およびその他の国々における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。Macintosh、Mac および Mac OS は、アメリカ合衆国および他の国々における Apple Inc. の登録商標です。Mac ロゴはライセンスに基づいて使用される商標です。他の製品名および会社名は、すべて各社の商標および登録商標です。MP3SURROUND および MP3SURROUND ロゴはアメリカ合衆国およびその他の国々における Thomson SA の登録商標であり、Thomson Licensing SAS からのライセンスに基づいて使用されます。

リリース年月日：2009 年 11 月 18 日

© Steinberg Media Technologies GmbH, 2009.

All rights reserved.

目次

- 5 はじめに
- 6 Cubase Studio 5.1.1 の世界へようこそ
- 7 **新機能を使った作業**
- 8 プロジェクトアシスタントダイアログ
- 9 テンプレートを保存する
- 9 スクラビング/ジョグホイール(Scrub/Jog wheel)
- 10 AmpSimulator

はじめに

Cubase Studio 5.1.1 の世界へようこそ

このたびは Cubase Studio 5.1.1 をご愛用いただきまして、まことにありがとうございます。このバージョンはアップル Mac OS X Snow Leopard (10.6) とマイクロソフト Windows 7 に対応しています。同時に、すべての Cubase Studio ユーザーにとっても新しいさまざまな機能も追加されています。

本書ではバージョン 5.1.0 以降に追加または変更された機能を順にご紹介していきます。

アプリケーションのバージョンについて

本書では Windows 版と MacOS 版の Cubase Studio の使用方法をご紹介します。

機能や設定項目によっては、Windows か Mac OS、どちらか一方のプラットフォーム (OS) でだけ利用できるものもあります。その場合は、それが明記されています。

⇒ 特にただし書きがない場合、記載された説明や手順は Windows と Mac OS の両バージョンに当てはまります。

キーボードショートカットの表記について

Cubase Studio のキーボードショートカットの多くは「修飾キー」と呼ばれる命令用のキー (modifier key) と共に使用されます。このキーはオペレーティングシステムによって異なります。たとえば、取り消し操作の既定 (デフォルト) キーボードショートカットは Windows の場合、[Ctrl] + [Z] ですが、Mac OS では [command] + [Z] です。

本書では、修飾キーを伴うキーボードショートカットを記述する場合、まず Windows の修飾キーを挙げ、次のように記載します。

[Windows 修飾キー]/[Mac OS 修飾キー] + [キー]

たとえば [Ctrl]/[command] + [Z] と表記されている場合、Windows では [Ctrl] キー、Mac OS では [command] キーを押した状態で [Z] キーを押すことを意味します。

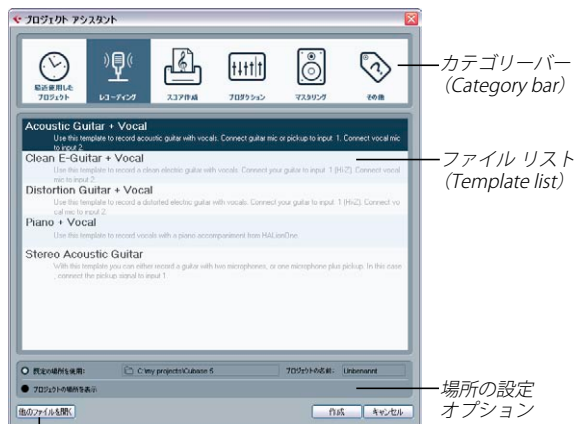
同様に [Alt]/[option] + [X] と記載されている場合、Windows では [Alt] キー、Mac OS では [option] キーを押したままで [X] キーを押すことを指しています。また、上記の [Z]、[X] などアルファベットや数字で表記されたキーは半角英数字を意味します。

⇒ 本書では右クリックを使った操作が出てくるともあります (コンテキストメニューを開くときなど)。Mac でシングルボタンのマウスを使用している場合は、[Ctrl] キーを押した状態で該当する要素をクリックしてください。

新機能を使った作業

プロジェクトアシスタントダイアログ

「ファイル (File)」メニューの「新規プロジェクト ... (New Project...)」を選択すると、「プロジェクトアシスタント (Project Assistant)」ダイアログが開かれます。ここでは、最近使用したプロジェクトを開くか、新しいプロジェクトを作成するかを選べます。新しいプロジェクトを作成する場合には、既存のテンプレートか、空白のプロジェクトファイルを開き、そこから作業を開始できます。



[他のファイルを開く (Open Other)] ボタン

以下の場合にも、このダイアログが開かれます：

- ・「環境設定 (Preferences)」ダイアログ「全般 (General)」ページにある「起動時 (On Startup)」欄のポップアップメニューで「プロジェクトアシスタントを表示 (Show Project Assistant)」が選択されている場合のアプリケーション起動時。
- ・Cubase Studio の起動中に [Ctrl]/[Command] キーを押し続けた場合。

最近使用したプロジェクトを開く

ダイアログ内で上部にある「カテゴリーバー (Category bar)」の「最近使用したプロジェクト (Recent)」アイコンをクリックすると、最近開いたプロジェクトの名前が一覧表示されます。表示された項目の中から1つを選択し、そのまま「開く (Open)」ボタンをクリックすると、選択したファイルが開かれます。リストに表示される項目は「ファイル (File)」メニューの「最近使用したプロジェクト (Recent Projects)」と同じです。

テンプレートを選択する

「カテゴリーバー (Category bar)」には、さらに「レコーディング (Recording)」、「プロダクション (Production)」、「スコア作成 (Scoring)」、「マスタリング (Mastering)」というアイコンがあります。これらは標準付属のテンプレートファイルをカテゴリーごとに分けたものです。また、カテゴリーバー右端の「その他 (More)」には、既定 (デフォルト) のプロジェクトテンプレートや、他のカテゴリーに分類できないテンプレートが収められます。

これらのアイコンの1つをクリックすると、そのカテゴリーに属するテンプレートの名前がカテゴリーバーの下に一覧表示されます。Cubase Studio を初めて起動した場合、このリストには Cubase Studio と一緒にインストールされた標準付属のテンプレートが表示されます。ユーザーが新しく作成したテンプレートは、そのファイルの属するカテゴリーリストの一番上に加えられていきます。

- ・テンプレートベースではない空白のプロジェクトを作成するには、テンプレートを選択しないで「作成 (Create)」ボタンをクリックします。「その他 (More)」カテゴリーにある「empty (空白)」を選択し、「作成 (Create)」ボタンをクリックしても同じ結果が得られます。
- ・また、リスト内の項目を右クリックし、コンテキストメニューから「名前の変更」や「削除」などの項目を選択すると、その機能を該当する項目に適用できます。

プロジェクトの場所を選択する

「プロジェクトアシスタント (Project Assistant)」ダイアログの下部にある項目を使うと、プロジェクトファイルを保存する場所 (メインフォルダー) を指定できます。

- ・「既定の場所を使用 (Use default location)」を選択すると、その右側の欄に示されている既定 (デフォルト) フォルダーがプロジェクトの保存場所になります。そのまま「作成 (Create)」ボタンをクリックするとその場所にプロジェクトフォルダーが作成されます。「フォルダーの名前 (Project Folder)」欄では、プロジェクトフォルダーの名前を指定できます。ここでフォルダー名を指定しないと、プロジェクトファイルは「名称未設定 - × ×」という名前のフォルダーに保存されます。「× ×」は自動的に付けられる数字を表します。

- ⇒ 既定 (デフォルト) フォルダーを変更するには「既定の場所を使用 (Use default location)」欄の右側にあるパス名欄をクリックします。ダイアログが開かれるので、希望する場所を指定してください。
- ・別の場所にプロジェクトを作成するには、「プロジェクトの場所を表示 (Prompt for project location)」を選択し、[続行 (Continue)] ボタンをクリックします。開かれたダイアログで希望するフォルダーを指定してください。

他のファイルを開く (Open Other)

「他のファイルを開く (Open Other)」ボタンをクリックすると、これまでにご紹介した操作では表示されないファイルを開くことができます。「ファイル (File)」メニューの「開く ... (Open...)」を選択した場合と同じ結果になります。

テンプレートを保存する

「テンプレートとして保存 (Save as Template)」ダイアログにはタグエディターセクションが追加されました。ここでは、カテゴリ情報を設定したり、説明テキストを加えたりすることができます。設定できるカテゴリは、「プロジェクトアシスタント (Project Assistant)」ダイアログに表示される 5 種類のうちのいずれかです。説明テキストは「プロジェクトアシスタント (Project Assistant)」ダイアログ内にも表示されます。

- カテゴリを設定するには、「Template Category (テンプレートカテゴリ)」の「値 (Value)」欄をクリックし、ポップアップメニューから希望する項目を選択します。説明テキストを加えるには、「Content Summary (コンテンツの概要)」のテキスト欄をダブルクリックし、希望するテキストをタイプ入力します。
- ⇒ 「Template Category (テンプレートカテゴリ)」の値を設定しない場合、そのテンプレートは「プロジェクトアシスタント (Project Assistant)」ダイアログでは、「その他 (More)」カテゴリに表示されます。

スクラビング / ジョグホイール (Scrub/Jog wheel)

Cubase Studio にはスクラビング / ジョグホイールも搭載されました。

シャトルスピードコントロール (Shuttle Speed control)



シャトルスピードコントロール (トランスポートパネルの外側のホイール) を使うと、いろいろな速度でプロジェクトを前後に再生できます。これを利用すると、プロジェクト内のキューポイントを簡単に検索することが可能です。

- シャトルスピードホイールを右に回すと、再生がスタートします。ホイールを右に回すほど再生が速くなります。
- ホイールを左に回すと、プロジェクトが逆方向に再生されます。同様に、ホイールを左に回すほど、再生速度が上がります。

プロジェクトのスクラビング - ジョグホイール



トランスポートパネル上にあるホイールの中心部分はジョグホイール (Jog Wheel) として機能します。このホイールをクリックして左右にドラッグすると、テープデッキのスクラビングと同じように再生位置を手動で前後に移動できます。これを利用すると、プロジェクト内のポジションを正確に見つけられます。また、「キーボードショートカット (Key Commands)」ダイアログでは「トランスポート (Transport)」カテゴリで左右のジョグコマンド用のキーボードショートカットを設定することもできます。キーボードショートカットダイアログの詳細についてはオペレーションマニュアルの「キーボードショートカット」の章を参照してください。

- ジョグホイールは無限に回すことができます。目的の位置に達するまで何回でもホイールを回すことが可能です。ホイールを速く回すほど再生も速くなります。
- 再生時にジョグホイールをクリックすると、再生が自動的に停止します。

ナッジポジションボタン (Nudge position buttons)

シャトル / ジョグセクションの中央にある「+」と「-」のボタンをクリックすると、プロジェクトカーソルの位置を 1 フレーム右または左に移動 (ナッジ = Nudge) できます。

AmpSimulator

“AmpSimulator” はパネルのデザインが新しくなりました。ただし、搭載されているパラメーターはこれまでのバージョンと同じです。



“AmpSimulator” はディストーションエフェクトです。さまざまなギターアンプとスピーカーキャビネットの組み合わせをエミュレートします。多数のアンプとキャビネットの中から好みのモデルを選択できます。

パラメーターの内容は以下のとおりです。

パラメーター	内容
Drive	アンプのオーバードライブのかかり具合をコントロールします。
Bass	低音域のトーン コントロールです。
Middle	中音域のトーン コントロールです。
Treble	高音域のトーン コントロールです。
Presence	高音域のレベルを調整します。
Volume	全体の出力レベルを制御します。
Amplifier pop-up menu	アンプセクションのいちばん上にあるアンプ名の欄をクリックすると、ポップアップメニューが表示され、希望するアンプモデルを選択できます。“No Amp” を選択すると、アンプセクションがバイパスされます。
Cabinet pop-up menu	キャビネットセクションのいちばん上にあるキャビネット名の欄をクリックすると、ポップアップメニューが表示され、希望するスピーカーキャビネットモデルを選択できます。“No Speaker” を選択すると、キャビネットセクションがバイパスされます。
Damping Lo/Hi	選択したスピーカー キャビネットのサウンドキャラクターを調整するためのトーン コントロールです。値を設定するには、数値欄をクリックし、希望する値を入力したうえで [Enter] キーを押してください。